



## □ 2学期が始まりました

1学期末の「家庭訪問・個人懇談」では、お忙しい中、時間とご自宅訪問にご配慮をいただき、誠にありがとうございました。どの職員も保護者の皆様にお目にかかれたことを喜び、お子様の家庭での様子や友達関係等の貴重な情報を得ることができました。これからも、学校は家庭と連携しながら教育の質を高めていきます。2学期もよろしく願いいたします。

さて、8月18日(火)は、ZOOMで全教室をつなげての2学期の始業式でした。短い夏休みでしたが、子どもたちにとって思い出深い夏休みとなったのでしょうか。大きな事故やケガ、コロナ感染者を出すことなく2学期がスタートできることに、感謝いたします。

8月6日文科科学省は、校内におけるコロナ感染症拡大防止について、「校内での感染率が低い」という調査結果から、「学校の新しい生活様式」の改訂版を出しました。これを受けて、町内の小中学校もこれまでの感染症防止の取組を下記の通り平常時に戻していきます。とは言え、朝の検温、手洗いの徹底、マスクの着用、3密の回避などは、今まで通り返していきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 学習・・・合唱や音読発表など(大声を出す活動)は、体育館で広がってします。  
実験・観察は一人だけの環境で行います。調理実習は一人分の材料を一人で調理し自分で試食します。
- 給食・・・食事の継ぎ分けを教師から子ども(当番)に戻します。
- 掃除・・・平常時の掃除方法に戻します。(トイレの床だけは、これまで通り消毒液とモップを使用します)

6月から工事していました体育館の床の改修が終わりそうです。9月1日(火)から使用できる予定です。



## □ PTAによる校内消毒作業

8月18日(火)の午後3時から、山鹿小PTA役員や保護者等14名(三柵教育長も応援)が校内の消毒作業を手伝っていただきました。

この取組は、芦屋町4校PTA(会長・校長会)の組織の中で協議され、芦屋町内4校の小・中学校それぞれで行われることになりました。

蒸し風呂状態の校舎内で消毒作業はスタートし、いつもの職員だけの作業よりも丁寧に早く終了しました。ご多用の中、手伝ってくださり大変助かりました。また、新たな学校内の日常を知っていただくことができ、有意義なPTA活動でした。これからは、毎週金曜日に福岡教育大学の学生さんによる消毒作業も開始され、先生方の負担も少し軽減されます。



久しぶりに保護者のみなさんにお会いすることができ、嬉しかったです。ありがとうございました。

## □ 福岡県家庭教育のすすめ

7月配布しました「福岡県家庭教育のすすめ」についての再度のご案内です。

このチラシ「福岡県家庭教育のすすめ」は、保護者の皆さんに家庭教育の大切さと役割について、改めて考えていただくための提案として、福岡県が作成したものです。本チラシに記載している11の内容は、福岡県内のすべての家庭において、実行していただきたい内容でもあります。

また、県PTA連合会が進めている「新家庭教育宣言」においても、その取組として、取り上げることができます。子育ての主体者である私たちが再確認し、しっかりと取り組んでいきましょう。

家庭教育のすすめ  
QRコード



～福岡県家庭教育のすすめ～

### 子育ての主役は家庭です!

家庭教育は、すべての教育の土壌として、乳幼児期からの親子の愛情と養育とのふれ合いを通して、子どもが基本的な生活習慣や、自己への思いやりや意欲の発露、自主心や社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を担っています。保護者の皆さん、以下の提案から家庭教育の大切さと役割を再確認しましょう!

- 1 スキンシップ**  
乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう。乳幼児期のスキンシップや語りかけは、人と関わりながら生きる上で最も大切な社会性を育む基礎となります。
- 2 睡眠と体調管理**  
睡眠の重要性を親子で共有し、年歳・年齢・季節ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう。睡眠のとれた食事、適切な運動、十分な休養を確保することは、心と体の強やかな成長につながります。
- 3 話を聴く**  
子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう。話を聴くことで、考えを認め、気持ちを受け止めようとする姿は、親子の関りのしかりとした信頼関係を育みます。
- 4 ほめる**  
子どもが持っている良さや伸びを見つけ、積極的にほめましょう。継続している姿や失敗して悔んでいる姿もタイミングよく上手にほめることで、自信回復(自分を大切に思う気持ち)が育まれるとともに、やる気につながります。
- 5 叱る**  
叱るべき時に本気で叱り、悪いことをしっかりと教えましょう。自分や他人を傷つけた時、謝罪させたりするようなことをした時など、人として振るべき行動をした時には、叱っている理由や相手の気持ちをしっかりと伝えることが、最終目標、目標を育みます。
- 6 お手伝い**  
お手伝いをする機会をつくりましょう。お手伝いをする機会には、色々な知識や知恵を学ぶ場となり、責任感や達成感を育みます。
- 7 我慢させる**  
子どもが欲しいがままに、物を与えないようにしましょう。物やお金を大切に使うこと、時や場所に応じて我慢することを適切に教えることは、自立性や耐性(忍耐)を育みます。
- 8 インターネットのルール**  
パソコンやスマートフォンでインターネット使用に際して、家庭でルールをつくりましょう。利用のしすぎや長時間の利用は、健康や学習に悪影響を及ぼす可能性があります。利用のしすぎや長時間の利用は、健康や学習に悪影響を及ぼす可能性があります。
- 9 外遊び**  
仲間と外でしっかりと遊ばせましょう。外遊びは、体力や運動能力、自主性や責任感(責任力)、協調性を育てることにストレスの解消にも役立ちます。
- 10 手本**  
親は子どものよき手本となります。親は「大人」の一言一動が子どもにとって大きな影響を与えます。親自身がよき手本を築きましょう。
- 11 絆**  
家庭の役割を再確認し、親子のふれ合いや絆を大切にしましょう。家庭は、子どもにとって最も身近な社会です。親子のふれ合いや絆づくりを通して、社会性を育みます。

※出典：福岡県青少年健全育成総合計画(福岡県青少年プラン)「誰もが笑顔へのメッセージ」

お問合せ先／福岡県人づくり・県民生活部 私立学振興・青少年育成局 政策課  
TEL／092-643-3134 (直通)

## □ 学校全体の教育力

新型コロナウイルス感染症予防で、臨時休校が始まり、その後も学校生活に制限がかけられ半年になろうとしています。各学級では、教育活動の制限はあるものの落ち着いた学校生活が定着してきました。学習進度も3月までにどの教科も履修できる状況にあり、今のところは安心です。しかし、学校全体としては、全校児童が一堂に集合できない状況にあり、それによる6年生のリーダーシップを発揮させる場が不足していると感じています。6年生のお手本となる良き姿は、その学校の教育力の成果を表していると私は考えます。学校の教育の集大成が6年生の姿であると考えれば、学級の中だけの教育活動にとどまることは、学校全体の教育力を発揮する上でも勿体ないことです。憧れモデルの6年生の背中を1～5年生に見せて学ばせることに大きな意義を感じます。

そこで、2学期は、児童会活動の活性化に重点を置き、6年生のリーダー性や全校児童の自主性を発揮する場を工夫したいと考えています。まずは、9月の修学旅行での平和集会に向けた平和学習です。他に、委員会活動や縦割り集会活動、10月のスポーツ大会(仮称)などに6年生の活躍の場を用意します。

## □ 9月の行事予定

9月 1日(火)	あいさつ運動, 4年折り鶴づくり 委員会活動	15日(火)	あいさつ運動
2日(水)	3年折り鶴づくり	26日(土)	土曜授業(授業参観なし)
3日(木)	1年折り鶴づくり		
4日(金)	2年折り鶴づくり		
8日(火)	児童朝会 5年県学力テスト クラブ活動 尿検査2次		
10日(木)	11日(金)		
	6年修学旅行		

